



AZUKO

Hokkaido Atsuma High School

平成31年度入学案内

北海道厚真高等学校



よき市民、 よき社会人を 育てる

「ちいさくて あったかい それが厚真高校」

～生徒一人ひとりを大切にする学校～

北海道厚真高等学校長 南原 賢二



厚真高校は、胆振管内東部、「厚い真心で人々がふれあう町」厚真町にあり、今年度開校65年（昭和28年に創立）を迎えた伝統ある全日制普通科の高等学校です。厚真町の豊かな自然環境、静かで落ち着いた教育環境の中で、生徒と先生の厚い信頼関係に基づき、小規模校ならではの生徒一人ひとりを大切にした教育を行っています。

本校は、1学年1クラスの小さな学校ですが、この小ささが、生徒同士や生徒と先生の身近な距離感を生み出し、様々な活動において少人数指導の効果が生まれます。学習指導や進路指導、教育相談、課外活動などを通して、生徒一人ひとりの希望や目標、個性や価値観、能力や特性などを大切にしたきめ細かい指導を行っており、生徒が生き活きと活躍できる学校です。

厚真高校の特色の一つとして、北海道教育委員会から指定を受け、「地域連携特例校」となりました。苫小牧東高校を「地域連携協力校」とし、授業や生徒会交流を中心とした学校間連携が行われています。今年度授業では、苫小牧東高校の国語科・英語科各1名の先生がそれぞれ週4時間行っており、本校と苫小牧東高校の先生による少人数指導を展開しています。また、学校に設置されている遠隔機器を利用した遠隔授業を年間通して行っています。授業の他にも、生徒会を中心に互いの学校行事に参加するなど課外活動の生徒間の交流も盛んに行われています。

本校は厚真町の地域の厚い支援を基盤として、保護者や関係機関の皆様のご理解とご協力によって生徒一人ひとりを大切にする教育活動が実現できております。これからも皆様の信頼や期待に応えるため、本校教育活動の充実に努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

めざす 生徒像

- 広い視野と高い教養を身につけた人
- 豊かな感性と寛容の精神を兼ね備えた人
- 心身を鍛え、強固な意志と体を持つ人

重点 目標

- 1 本校生徒に必要な資質・能力を明確にし、基礎的・基本的な知識や技能及び課題解決に必要な思考力、判断力、表現力を育成するとともに、主体的に学習に取り組む生徒を育てる。
- 2 公共の精神や社会規範及び自他の生命を尊重する意識と態度を持ち、自ら正しく判断して行動できる生徒を育てる。
- 3 自己の適性を理解するとともに、将来の進路設計を明確に持ち、未来を切り拓く向上心あふれる生徒を育てる。
- 4 特別活動や部活動を通して、よりよい人間関係や社会性を育成するとともに、心豊かにたくましく活動する生徒を育てる。

教育の 象徴



天 地 人

伸びゆく未来に理想を求める
若者の姿
(希望・発展・創造の心)

母なる大地に立って、
不撓不屈の心を傲やす若者の姿
(忍耐・努力・愛郷心)

天地の摂理にのっとり、
人格の完成をめざす若者の姿
(和衷・倫理・敬愛の心)



厚真高校の 笑顔になる 教育活動

～小さくて あったかい
それが厚真高校～



一人ひとりが分かる学習活動

学習の基礎・基本を大切に

厚真高校は1学年1クラスの学校ですが、この「小ささ」が学校の長所となっています。先生方一人一人がすべての学年に入って授業を行い、基礎・基本を中心に、生徒一人一人を大切にする学習活動を行っています。また、年2回、すべての先生方がすべての生徒と教育相談を行い、学習や進路、生活などについて話し合う機会をもつなど「先生方と生徒の距離が非常に近い」学校です。



充実したキャリア教育

将来の社会的自立に向けて



「キャリア教育」を重視する本校では、高校卒業後、一人一人が自立し活躍するために必要とされる知識や能力、態度を身につけるために、さまざまな体験的活動や行事を行っています。全員が参加する職場体験学習や専門学校出前講座、企業説明会、企業訪問、職場見学、生活安全教室、地域貢献活動など、地域の方々や企業関係者、学校関係者と連携しながら特色ある取組を行っています。

地域連携特例校

苫小牧東高校との連携

厚真高校は、平成20年度より、苫小牧東高校を協力校とする地域連携特例校となりました。苫小牧東高校の先生（国語・英語）が週2回厚真高校で授業を行ったり、情報機器を使用した遠隔授業なども年間数回行っています。また、生徒会や部活動の交流も盛んで、特に、学校祭や地域の行事などにお互いに参加し合い交流を深めています。



少人数で身に付く英語授業

ALTと基礎から英会話まで

1年次は、週1～2回ALTの授業、その他に中学校英語の復習。2年次からは習熟度別にクラス分けを行い、ひとりひとりのレベルに応じた授業を受けることができます。英語の選択科目では、英検に向けた学習もできます。また、週1回、部活動ESS（英会話同好会）があり、約1時間のALTとの少人数英会話レッスンを受けられます。



ボランティア活動・地域貢献活動



ボランティア部・家庭科授業

生徒達のボランティア活動は、豊かな人間性や社会性を身につけるよい機会となっています。ボランティア部を中心に厚真町の夏祭りや文化祭へ参加、町内外の福祉施設の訪問、子ども教室の支援、清掃活動など積極的に取り組んでおり、家庭科の授業でも福祉施設やサークルの訪問、支援などを行っています。



全校ボランティアクラブ

本校では平成28年度から「ボランティアクラブ」が新たにつくられ、地域に根ざしたボランティア活動を通して、生徒の思いやりの心や、公共の精神、社会性を育むことを目的に厚真町と連携しながら地域への貢献活動などに取り組んでいます。



家庭クラブ（クラブ員20名）

学校家庭クラブ活動では、家庭科の授業で学んだ事を生かして、家庭や地域生活の改善、向上を目標に調査研究、実践活動を行います。本校では、平成30年度より「ハスカップと健康づくり」をテーマに研究しています。研究成果は地域へ還元するとともに、研究の成果を全道大会で発表し、広く発信します。

各種検定・資格の取得へ向けて

資格を自分の力に

卒業後の進路に向けて、厚真高校では生徒全員の資格取得に力を入れています。本校は、情報および商業の科目を設置しており、授業と運動しながら情報処理検定、ワープロ検定、簿記能力検定、電卓能力検定などを受検することができます。その他、漢字・英語検定はもちろん、危険物取扱者資格、食品衛生責任者資格の取得などにも力を入れています。なお、厚真町からの支援により、検定料の3/4を助成してもらうことができます。



部・局・同好会

課外活動で放課後の充実

野球部	美術部	ESS (英会話同好会)	バドミントン部
自然科学部	放送局	写真部	ボランティア部



現役生の声



**生徒会活動でやりがいと成長を実感。
本当に「あったかさ」を感じる環境です。**

今は生徒会の会長として様々な活動に取り組んでいます。1年の時の新入生歓迎会で、生徒会の方々が自ら積極的に動きながら行事を成功させようと一生懸命取り組んでいた姿を見て、自分もそんなふう活動してみたいと思い入りました。意見がまとまらないなど大変なことも多いですが、みんなで協力しあって実施した行事で、在校生たちが笑顔で楽しんでいる姿を見られると、とてもやりがいを感じます。人前に出るのが苦手でしたが、人をまとめたり大きな声で指示を出したりできるようになり、自分も成長できたかなと思います。厚真高校は「ちいさくて、あったかい学校」という通り、人数は少ないですが先輩後輩のコミュニケーションも活発ですし、先生方もとても親身に指導してくれて、本当にあったかさを感じる環境です。卒業後は製造関係の仕事に就きたいと考えていますが、社会に出たら会社でもプライベートでも周りから頼りにされる人になりたいと思います。



生徒会会長
3年生 森本 将輝
(厚真中出身)

**いろいろなことに挑戦して毎日充実！
先輩・後輩・先生との距離の近さが魅力です。**

厚真高校では、町から資格取得のための補助があり、いろいろな資格に挑戦できることが魅力でした。また、体験入学で授業や先輩方の様子を見て、とても優しく楽しく学べると思い入学しました。今は進学を目指し、生徒会活動や勉強面を頑張っており取り組んでいます。私は中学では成績が悪く、高校で「変わりたい！」と強く思っていました。なので、勉強や資格はもちろん生徒会や町民吹奏楽団にも入るなど、いろいろなことに挑戦して毎日充実しています。成績でクラスのトップを維持していくことが今の目標です。厚真高校は、先輩や後輩、そして先生方との距離が近く、とても明るい雰囲気でも暖かいです。勉強面のサポートも親身で、学びやすく過ごしやすい環境ですので、ぜひ多くの生徒に来てほしいですね。将来の夢は保育士になってずっと続けていくことです。夏休みには町内の保育園にボランティアに行こうと思っているので、それがとても楽しみです。



生徒会書記
2年生 笠原 あいか
(厚真中出身)



年間行事



入学式

4

- 始業式 ● 入学式 ● 新入生歓迎会
- 携帯・インターネット教室
- 授業公開・PTA総会



厚真町田舎まつり参加

5

- 高体連壮行会 ● 生徒総会
- 生徒会交流（苫小牧東高）

6

- 前期中間考査 ● 生徒会交流 ● 避難訓練
- 進路体験談を聞く会 ● 田舎まつり参加
- 全校教育相談① ● 生徒会交流（苫小牧東高）



学校祭

7

- 学校祭 ● 防犯・薬物乱用防止教室
- 夏季休業 ● 進路講習

8

- 夏季休業 ● 夏季確認テスト



強歩大会

9

- 前期末考査 ● 生徒会役員選挙
- 交通安全教室 ● 強歩大会
- 前期終業式

10

- 後期始業式 ● 中学生1日体験入学
- 交通安全街頭啓発 ● 企業・大学訪問
- ドライバーズセミナー ● 2学年見学旅行 ● 租税・年金教室

11

- 全校教育相談② ● 授業公開週間
- 後期中間考査 ● 職場体験学習（2年生）
- 防災教室

12

- 球技大会 ● 3年生を送る会
- 冬季休業 ● 進路講習 ● 救急救命講習



見学旅行

1

- 冬季休業 ● 冬季確認テスト
- 合格体験発表会 ● 学年末考査（3年生）

2

- 1学年宿泊研修 ● 学年末考査（1・2年生）
- キャリア教育講話

宿泊研修
国立青少年自然の家



3

- 専門学校出前授業 ● 卒業式
- 修了式 ● 新入生事前登校

OB・OGの声

大学で知識や技術を学び、将来は自分の畑を持つことが夢です。

小さい頃から野菜や花などの作物に興味があったのですが、高校の時に本大学に進んだ先輩の話聞いて、自分のやりたいことが見つかると思い、指定校推薦で入学しました。現在は農学コースを選択し、主に野菜や花についての授業・実習をしています。勉強はわからないことばかりで難しく、ついていけない部分もありますが、自分の知らないことを日々学ぶことに楽しさを感じています。農業高校出身の学生

に負けないよう、復習と予習を欠かさずやるようにしています。高校時代は友人や先生との関わりが深く、本当に毎日が充実していました。学校祭では意見がぶつかりながらも当日は一致団結して成功でき、コミュニケーションの大切さ、協調性を学ぶことができました。人見知りだった自分も積極性が身についたと思います。将来は農業に取り組み自分の畑を持つのが夢。厚真でそれができたら嬉しいですね。



酪農学園大学4年
平成27年3月卒 堀之内 秀斗



北海道千歳リハビリテーション大学1年
平成30年3月卒 高橋 理奈

高校で養われた忍耐力と継続力で、辛いことも乗り越えられます。

もともと進路は医療系を考えていました。そんな時に祖母が脳梗塞を患い、手足が不自由になったのですが、担当の作業療法士の方が動作のケアだけでなく、励まししながら精神的にもサポートされていて、私もそんなふうに患者さんを支え助ける仕事がしたいと思い、当大学に進みました。今は骨や筋肉の名称を覚えたり、体の構造や仕組みなどを理解したりするのが大変。テストも頻繁にあるので気が抜けず、勉強満々の

毎日です。でも、テストで目標点数をクリアした時は嬉しいですし、時には友達と遊びに行ったり勉強をするなど、充実した生活を送っています。厚真高校では、勉強や学校生活を通して忍耐力と継続力を養うことができ、辛いことがあっても途中で諦めずに乗り越えられる力になっています。将来は、祖母を見てくれた方のように、人から信頼され、お年寄りの役に立てるような立派な作業療法士になりたいと思っています。

自分の目標をしっかりと持っていればかなえられる高校だと思っています。

第一志望だった企業に就職できた喜びを感じながら、今は勉強の毎日です。私たちの生活に欠かせない石油の安定供給のために、原油タンクの維持・管理などを行う仕事を担当していますが、先輩たちの仕事の知識や熱意、責任感などは尊敬するばかりです。レベルの高い環境で仕事ができることをラッキーととらえ、自分を高めていきたいと思っています。高校時代は、野球部でキャプテンをしていました。野球を通して、礼儀やチームワーク、

リーダーシップを身につけることができ、就職試験の面接でもアピールポイントにできました。厚真高校は、規模は小さいけれど、自分の目標を持っていればかなえられる学校だと思っています。「こうはなりたくない」と思うのではなく、「こうなるんだ」という意志を持つことで、自分自身の高校生活の取り組み方が変わり、先生からのサポートも得られるはずです。



北海道石油共同備蓄株式会社
北海道事業所 業務課勤務
平成28年3月卒 渡辺 耕平



苫小牧信用金庫 厚真支店
平成30年3月卒 高田 さつき

仕事の責任感を実感。地元のみなさんに育てていただいています。

地元で働き、地元の方々の役に立ちたいという思いから、地域にとって大切な当庫を志望しました。現在は、後方事務と窓口業務を交互に担当していますが、まだまだ緊張の連続です。お金を扱うので1円のミスもできませんし、ミスは当庫全体の信用にも関わるので大きな責任を実感しています。また、商品や取引先など覚えることや、資格の勉強などもあり大変です。でも、お客様と接するのはとても楽しく、新人の私に「頑張ってるね」

「ゆっくりでいいよ」と声をかけてくださり、みなさんに育てていただいている感じがします。高校では6つの資格を取りましたが、パソコンの資格は事務活に活かされ、介護の資格はお年寄りの対応などにとても役立っています。人数が少ない分、先生方が生徒一人ひとりを気にかけてくれて、なんでも相談できるのが厚真高校の魅力。小さな学校だからこそできることがあるので、ぜひいろいろな経験をしてほしいと思います。

進路状況 (過去3年間)

平成27年度卒業生

	進 学			就 職				未定者	合 計
	大学	短大	専門学校	県内	県外	海外	海外		
男	0	0	4	0	7	3	0	0	14
女	0	0	3	0	3	1	1	0	8
計	0	0	7	0	10	4	1	0	22

平成28年度卒業生

	進 学			就 職				未定者	合 計
	大学	短大	専門学校	県内	県外	海外	海外		
男	0	0	3	1	5	1	1	0	11
女	0	0	5	1	8	3	0	0	17
計	0	0	8	2	13	4	1	0	28

平成29年度卒業生

	進 学			就 職				未定者	合 計
	大学	短大	専門学校	県内	県外	海外	海外		
男	2	0	1	0	11	3	0	0	17
女	1	0	6	0	11	2	0	0	20
計	3	0	7	0	22	5	0	0	37

過去3年間の主な大学・短大、専門学校 進学先

札幌大学 スポーツ文化専攻	千歳科学技術大学 理工学部
北海道千歳リハビリテーション大学 作業療法専攻	栗山町立北海道介護福祉学校
光塩女子短期大学食物栄養科	北海道ハイテクノロジー専門学校
札幌医学技術福祉歯科専門学校	北海道介護福祉専門学校
北海道情報専門学校	札幌商工会議所付属専門学校

過去3年間の主な就職先

三菱製鋼室蘭特殊鋼 (株)	社会福祉法人 厚真福祉会
岩倉海陸運輸株式会社	株式会社ホクリョウ
株式会社 三豊	苫小牧信用金庫
トヨタ自動車北海道株式会社	株式会社ダイナックス
日本製紙北海道紙工株式会社	北海道石油共同備蓄株式会社
陸上自衛隊一般曹候補生	海上自衛隊一般曹候補生

地域一丸となって皆さんの学習活動を応援します！

厚真高校教育振興会の 支援内容

北海道厚真高等学校教育振興会は、厚真高校の地域に根ざした特色ある教育活動の支援を目的に設立された組織で、通学や各種資格取得に要する経済的負担の軽減や学校活動などへの支援、キャリア形成に要する経費の支援など、厚高の教育活動や生徒・保護者の皆さんを側面から応援します。

沼ノ端線が運行開始

沼ノ端駅前から乗り換えをしないでバス通学ができるようになりました。

平成29年1月からあつまバスが運行している路線に沼ノ端線が新設され、沼ノ端駅前から厚真高校前まで乗り換えをしないで通学できるようになりました。

通学費の助成

通学費の5分の4を助成

公共交通機関を利用する通学生の通学費用を助成します。
(下宿費用は1/2を助成)

●JR苫小牧駅から通学する場合

＊JR定期代（苫小牧駅～沼ノ端駅）……………1ヶ月4,780円

＊あつまバス定期代（沼ノ端駅前～厚真高校前）
……………1ヶ月24,480円

定期代の合計29,260円のところで、23,408円の助成により
実質負担額5,852円に！

●JR沼ノ端駅から通学する場合

あつまバス定期代（沼ノ端駅前～厚真高校前）
……………1ヶ月24,480円

定期代の合計24,480円のところで、19,584円の助成により
実質負担額4,896円に！

●JR早来駅前から通学する場合

あつまバス定期代（早来駅前～厚真高校前）
……………1ヶ月15,120円

定期代の合計15,120円のところで、12,096円の助成により
実質負担額3,024円に！

●上厚真から通学する場合

あつまバス定期代（上厚真～厚真高校前）1ヶ月20,880円
定期代の合計20,880円のところで、16,704円の助成により
実質負担額4,176円に！

※あつまバスは片道定期もあり、助成の対象です。

※あつまバスの定期は、あつまバス本社窓口で定期代の5分の1の額で購入することができます。

町内通学生への支援

実費相当額を支援

町内の通学生徒（公共交通機関利用者を除く・片道が2km以上が対象）は、通学に要する実費相当額を支援します。

資格取得への助成

各種資格取得に要する検定料の4分の3を助成

厚真高校生徒は、様々な資格や検定に取り組んでいます。平成29年度は実用英語技能検定、情報処理技能検定、ワープロ検定、危険物取扱者、漢字能力検定等に延117人の生徒が果敢にチャレンジしました。

履歴書に記載できる資格取得を目指してこの支援を活用してください。なお、回数制限はなく、合否は問いません。

その他の支援

- 大学や企業見学の際のバス借上げに対する支援
- スキー体験学習でのインストラクター招聘に対する支援
- 地域行事（田舎まつり）への参加に対する支援
- その他特色ある教育活動等への支援

厚真の豊かな自然の中で おちついた高校生活を 送riませんか!

厚真の公式キャラクター

あつまるくん

厚真の公式キャラクターあつまるくん。厚真の特産品のコメ、ハスカップ、道内屈指のサーフポイントにちなみサーフボードを背負っています。



厚真町は、山あり、海あり、湖沼ありの自然豊かなマチです。丘陵地帯には水田や畑が広がり、収穫時にはマチが黄金色に色づきます。四季の移ろいを実感できる自然豊かな中で、厚真町はおちついて高校生活を送ることができるマチです。

①こぶしの湯あつま

厚真高校の近くには日帰り入浴のできる公共の浴「こぶしの湯」があります。あつまスタードームなどを利用してたくさんの高校生や大学生が containment をしている施設です。



②あつまスタードーム

厚真高校の隣にある「あつまスタードーム」は、道内でもベストスケールを誇る「全天候型多目的土間体育館」。一年中、テニス、サッカー、野球を楽しむことができます。



③サーフィン・ボディボード

浜厚真海岸は道内でも有数のサーフィンのメッカとして知られています。冬期間以外は通年で道内のサーファーが太平洋の大波を楽しんでいます。



④フォーラムビレッジやルーラルビレッジ

厚真には自然豊かな環境に囲まれたフォーラムビレッジやルーラルビレッジなど住宅地があります。道内外から多くの家族が厚真町に移住しています。



厚真のイベント

スターフェスタ (秋の花火大会・ 干支文字焼き)

2月にこぶしの湯付近で行われる「スターフェスタ」は、雪景色を背景に花火と干支文字焼きの観望。厚真町ではほかに6月に田舎まつり、7月に海浜(はま)まつりなどイベントが盛りだくさんです。





ちいさくて
あったかい
それが厚真高校



北海道厚真高等学校

〒059-1605 北海道勇払郡厚真町字本郷 234-3
TEL.0145-27-2069 FAX.0145-27-2091

<http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp/>